
2022年に創立100年を迎える小学館が 東京藝術大学の協力を得て 100周年ロゴを作成しました

株式会社小学館（東京都千代田区、代表取締役社長：相賀昌宏、以下小学館）は、2022年8月8日に創立100周年を迎えます。創立から100年の長きにわたり弊社の発展を支えていただいた読者、関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

小学館の100周年事業は、2022年1月から約1年半をかけて、さまざまな出版企画やイベントを展開する予定です。

小学館は、100周年事業を展開するにあたり、東京藝術大学（東京都台東区、学長：澤和樹、以下藝大）の学生（学部・大学院・博士課程・専攻不問）による学内コンペティションで、100周年記念ロゴマークを募集し、最優秀作品賞として同大大学院美術研究科1年の武田葉奈（たけだ・かんな）さんの作品を選出いたしました。

武田さんの作品は、100周年事業終了時まで小学館によるさまざまな出版物や企業活動の中で使用されることになります。

■小学館100周年ロゴマーク



■選考の経緯

藝大のコンペティションは、「世界をもう少しだけ面白くしたい」という想いをテーマとし、2021年5月から7月まで募集受け付けをいたしました。応募総数88。そのすべてを審査対象といたしました。審査は、藝大出身でグラフィックデザイナー・アートディレクターの色部義昭氏、同じく藝大出身でグラフィックデザイナー・アートディレクターの関本明子氏、日比野克彦藝大美術学部長、松下計美術学部副学部長、相賀信宏小学館専務取締役により行われました。

■受賞者のコメント

最優秀作品賞受賞の武田栞奈（たけだ・かんな）さんのコメントは次の通りです。

「この度は、このような素晴らしいコンペで、最優秀作品賞にご選出いただき、ありがとうございました。『ちゃお』で育った私が、小学館100周年のロゴマークをデザインできる日が来るとは、本当に夢のようです。本当に嬉しいです。ありがとうございました」